

◆ 今週のコメント

- ・ **新型コロナウイルス感染症**の報告が39例(男性23例(20歳代6例, 30歳代2例, 40歳代3例, 50歳代3例, 60歳代7例, 70歳代2例), 女性16例(10歳代1例, 20歳代3例, 30歳代3例, 40歳代1例, 50歳代3例, 60歳代2例, 80歳代3例))あり, 累積報告数は1,445例となりました。
本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。
○新型コロナウイルス感染症 最新の動向
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>
- ・ **梅毒**の報告が1例(40歳代男性)あり, 症状は初期硬結, 梅毒性バラ疹です。感染地域は国内, 感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は52例となりました。
○厚生労働省「梅毒に関するQ&A」
http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html
京都市では, 平日及び土日の昼間にHIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を予約制で実施しています。詳細については, 下記のホームページを御覧ください。
○京都市情報館「京都市のHIV検査について」
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000271215.html>
- ・ **播種性クリプトコックス症**の報告が1例(70歳代男性)(43週追加報告分)あり, 本年の累積報告数は2例となりました。
平成26年9月19日に五類感染症(全数把握感染症)に追加されて以降, 京都市では8例目の報告となっています。届出基準等の詳細については, 下記のホームページを御参照ください。
○厚生労働省「感染症法に基づく医師及び獣医師の届出について」
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-05-140912-3.html>
- ・ **インフルエンザ**は, 定点医療機関からの報告はありません。現状では京都市で流行の兆しは見られませんが, 流行に備えて予防を心がけましょう。予防策としては, 手洗い, うがいなどの一般的な衛生活動が重要です。また, ワクチン接種も一定の予防効果があります。接種の詳細はかかりつけの医療機関に御相談ください。
京都市のインフルエンザの発生状況は下記のホームページをご参照ください
○京都市のインフルエンザの発生状況(衛生環境研究所)
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000102856.html>

◆ 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>

京都市で広報された新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のPCR検査陽性者数(感染者数)は, 第44週の1週間で39例あり, 累積報告数は1,445例となりました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類: 結核 4例(肺結核 2例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 1例)
【1月以降の累積報告数 219例(肺結核 99例, その他結核 47例, 潜在性結核感染者 73例)うち喀痰塗抹陽性 46例】
- ・ 指定感染症: 新型コロナウイルス感染症 39例【1月以降の累積報告数 1,445例】
- ・ 五類: 梅毒 1例【1月以降の累積報告数 52例】
- ・ 五類: 播種性クリプトコックス症 1例【1月以降の累積報告数 2例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

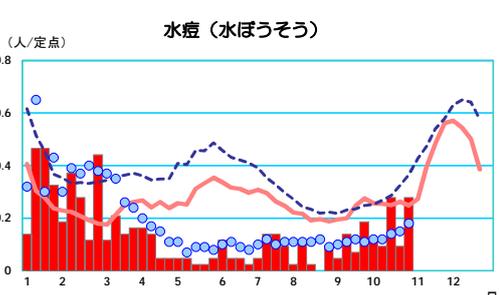
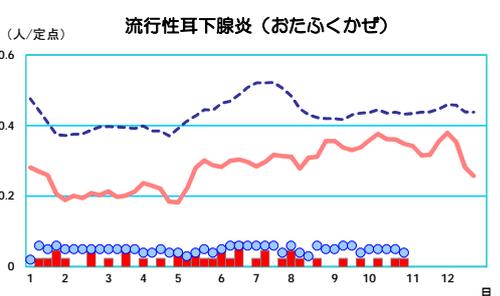
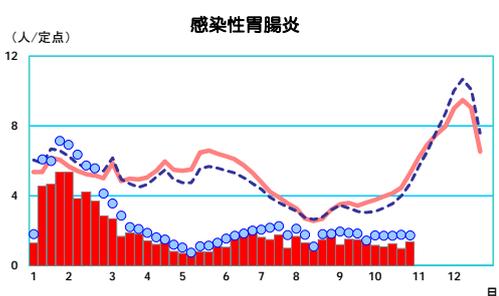
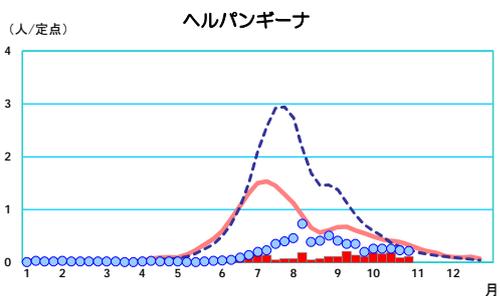
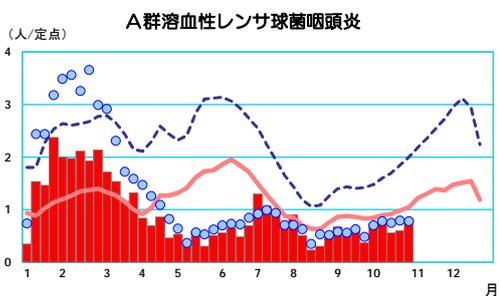
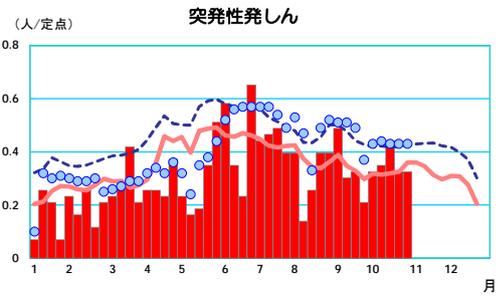
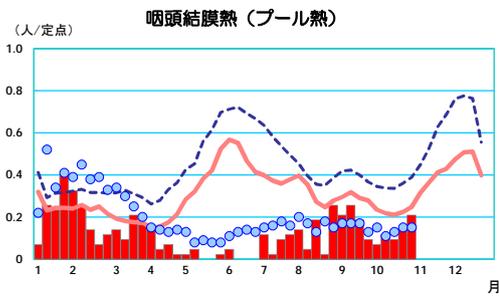
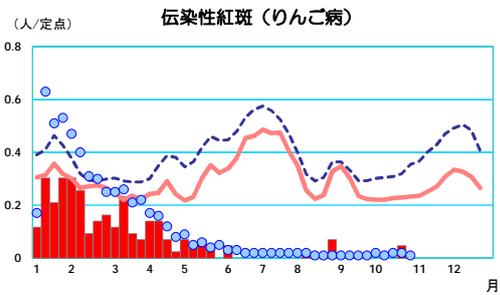
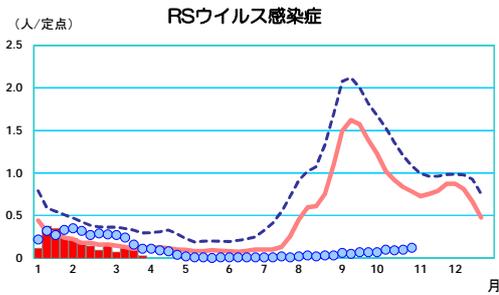
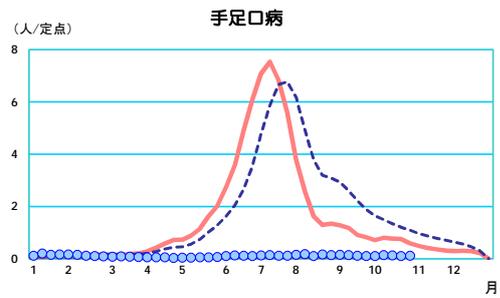
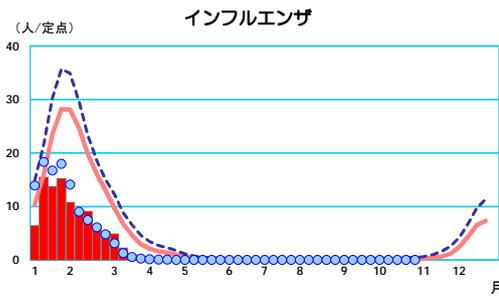
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	1.35	58
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.81	35
	③ 突発性発しん	0.33	14
	④ 水痘	0.28	12
	⑤ 咽頭結膜熱	0.21	9
眼科	流行性角結膜炎	0.00	0

【次ページ以降の主な内容】

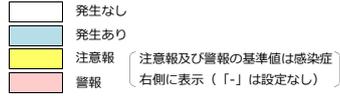
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 2020年11月4日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。
* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

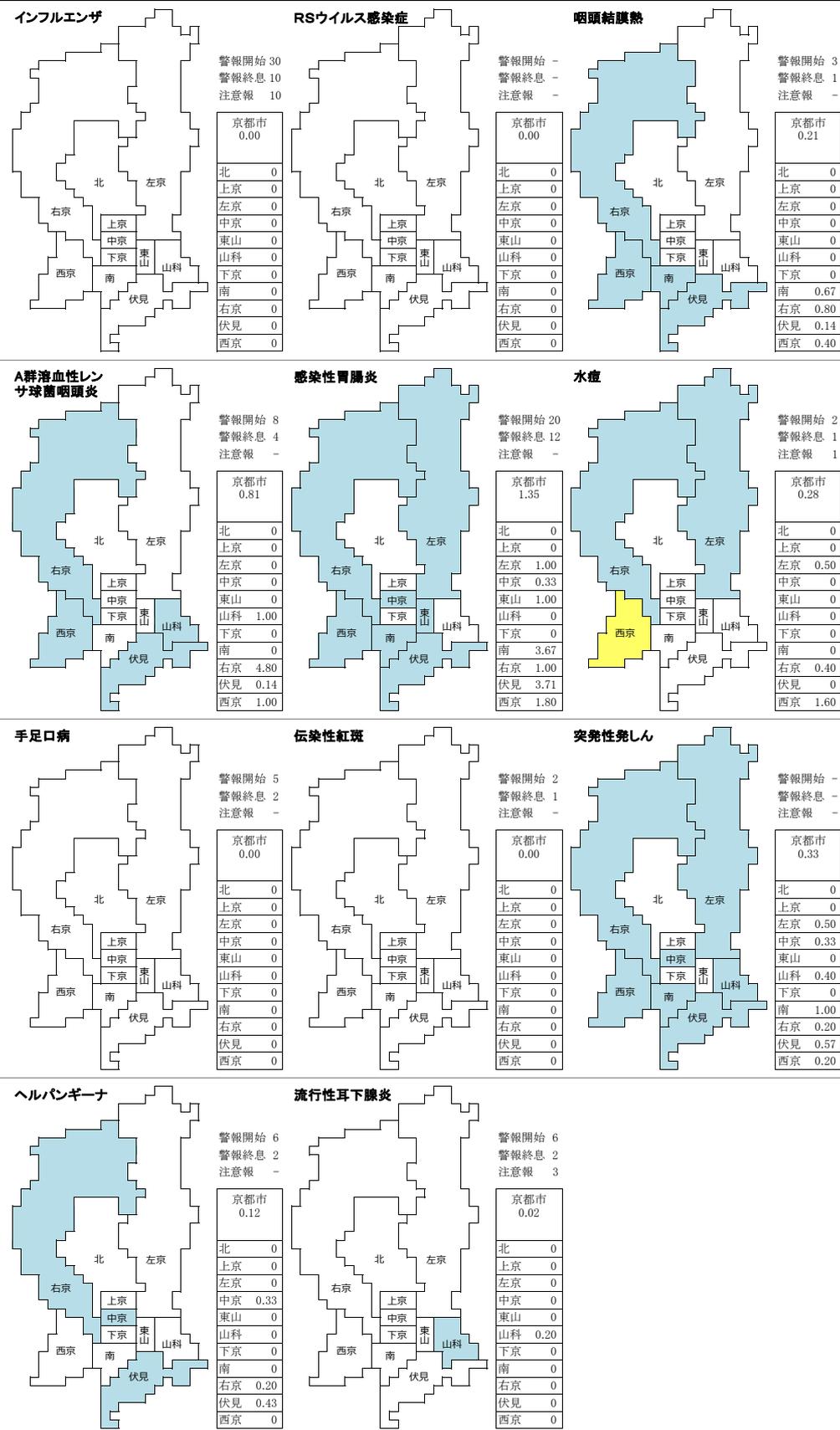
インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2020年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2020年 第44週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
したがって、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



第44週(10月26日～11月1日)トピックス: <新型コロナウイルス感染症>

京都市で広報された新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のPCR検査陽性者数(感染者数)は、第44週の1週間で39例あり、累積報告数は1,445例となりました。

また世界では、11月2日現在の累積報告数は4,640万例を超え、死者は約120万例となっています(*1)。

日本の各都市の発生状況を人口10万人当り報告数の週移動平均で比較すると、本市は全国とほぼ同じかやや多い程度の推移を示しています。他の自治体では7年半ばより大きく増加して、8月中にピークを迎えて減少し始める傾向が見られます。しかし、この春の流行と異なり、一定の発生を維持しながら10月中旬頃より再び増加し始めています(図1)。

世界の国々での発生状況を人口100万人当り報告数の週移動平均で比較すると、10月下旬よりいくつかの国で急激に増加しています。これを受け、再度のロックダウンを実施せざるを得ない状況に陥っている国々もあります(*2)。世界平均と比べると日本の報告数は少ないですが、日本でもこの10月から増加傾向がみられるため、今後の動向に注意が必要です(図2)。

なお、京都市では、11月1日から発熱等の症状がある方の相談・受診・検査の流れが変わりました。詳細は下記URLを御確認下さい。

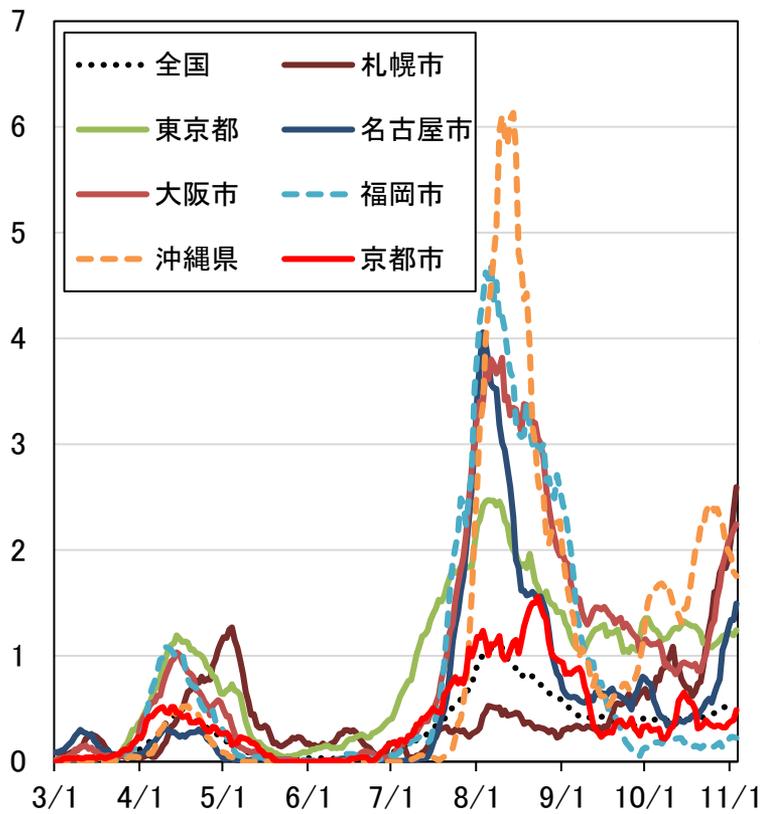


図1. 日本の地方ごとのCOVID-19報告数(人/人口10万人)

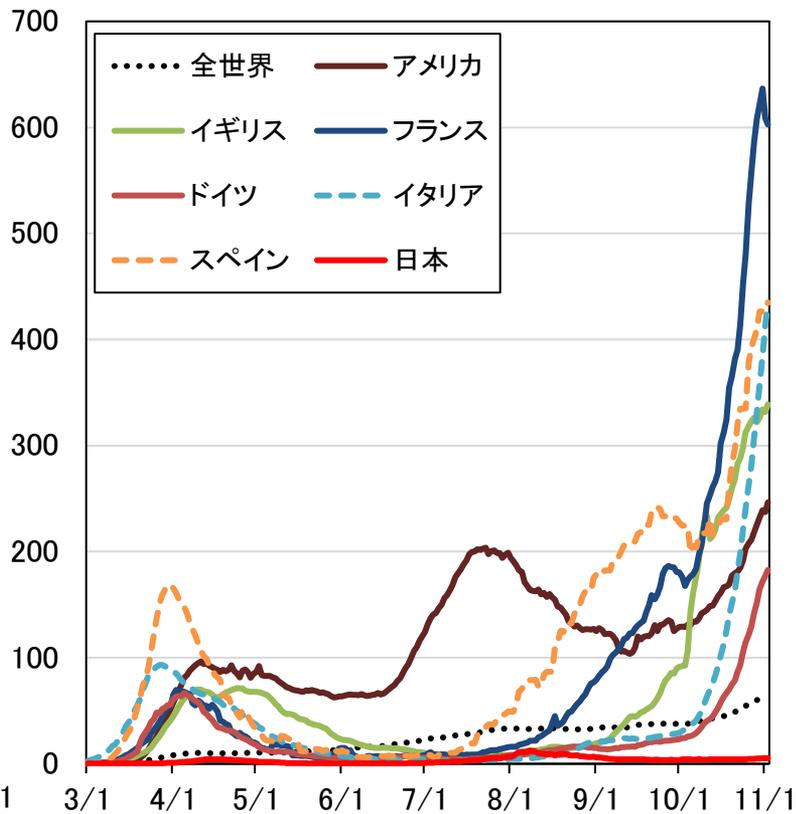


図2. 世界の国ごとのCOVID-19報告数(人/人口100万人)

(図1、2ともに Our World in Data(*3) の情報をもとに作成。)

11月1日から発熱等の症状がある方の相談・受診・検査の流れが変わります!

- ・「熱がある」「体がだるい」「のどが痛い」等、風邪の症状がある時は、身近な医療機関に、**まず電話で**ご相談ください。
- ・詳しくは、下記の京都市ホームページをご覧ください。

○京都市情報館「新たな診療・検査体制について」

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000277047.html>

【参考情報】

○厚生労働省では、新型コロナウイルス感染症に関する情報を掲載しています。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

○京都市では、新型コロナウイルス感染症の最新の動向を提供しています。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>

【出典】

(*1)新型コロナウイルス感染症(COVID-19)WHO公式情報特設ページ (https://extranet.who.int/kobe_centre/ja/covid)

(*2)BBCニュース「ジョンソン英首相、イングランドに2度目のロックダウン」(<https://www.bbc.com/japanese/54766396>)

BBCニュース「フランス全土で2度目のロックダウン」(<https://www.bbc.com/japanese/54716796>)

BBCニュース「スペイン、新型コロナウイルス感染者が100万人超える 6カ国目」(<https://www.bbc.com/japanese/54640471>)

朝日新聞デジタル「イタリアで再びロックダウン 午後10時以降は外出禁止」(<https://www.asahi.com/articles/ASNC520GMNC5UHBI005.html>)

(*3)Our World in Data (<https://ourworldindata.org/coronavirus>)

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第44週

疾病,行政区別報告数

2020年10月26日～2020年11月1日

データ入手日:2020年11月4日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	-	4	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	5	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	2	-	11	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	4	24	5	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	1	1	26	-	-	-	4	3	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	2	5	9	8	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	9	35	58	12	-	-	14	5	1	-	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	-	1.00	0.50	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	0.33	-	-	-	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	1.00	-	-	-	-	0.40	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	0.67	-	3.67	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	0.80	4.80	1.00	0.40	-	-	0.20	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	0.14	0.14	3.71	-	-	-	0.57	0.43	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	0.40	1.00	1.80	1.60	-	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	0.21	0.81	1.35	0.28	-	-	0.33	0.12	0.02	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第44週

年齢階級, 疾病別報告数

2020年10月26日～2020年11月1日

データ入手日:2020年11月4日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		9	-	2	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		35	-	2	4	3	4	-	3	6	2	3	-	4	-	4	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		58	2	5	2	7	1	1	1	5	2	8	-	15	1	8	-	-	-	-	-	-	-
水痘		12	-	-	-	1	2	2	3	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		14	1	2	10	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		5	-	-	1	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.21	-	0.05	0.14	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.81	-	0.05	0.09	0.07	0.09	-	0.07	0.14	0.05	0.07	-	0.09	-	0.09	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		1.35	0.05	0.12	0.05	0.16	0.02	0.02	0.02	0.12	0.05	0.19	-	0.35	0.02	0.19	-	-	-	-	-	-	
水痘		0.28	-	-	-	0.02	0.05	0.05	0.07	0.07	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		0.33	0.02	0.05	0.23	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		0.12	-	-	0.02	0.05	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第44週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2020年11月4日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	-	-	-	-	1	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	4	3	5	4	6	9
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	32	32	24	26	35
感染性胃腸炎	55	50	46	54	42	58
水痘	8	5	4	12	4	12
手足口病	1	1	-	1	-	-
伝染性紅斑	-	-	-	-	2	-
突発性発しん	9	14	15	19	14	14
ヘルパンギーナ	5	8	7	8	4	5
流行性耳下腺炎	1	-	1	-	1	1
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	1	-	-	1	-
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	100	114	110	122	101	134

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	-	-	-	-	0.01	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	0.09	0.07	0.12	0.09	0.14	0.21
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.37	0.74	0.74	0.56	0.60	0.81
感染性胃腸炎	1.28	1.16	1.07	1.26	0.98	1.35
水痘	0.19	0.12	0.09	0.28	0.09	0.28
手足口病	0.02	0.02	-	0.02	-	-
伝染性紅斑	-	-	-	-	0.05	-
突発性発しん	0.21	0.33	0.35	0.44	0.33	0.33
ヘルパンギーナ	0.12	0.19	0.16	0.19	0.09	0.12
流行性耳下腺炎	0.02	-	0.02	-	0.02	0.02
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.10	0.10	-	-	0.10	-
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	2.40	2.73	2.56	2.84	2.42	3.12

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。